


事業計画要旨(群馬県立敷島公園)

1 申請者名		敷島パークマネジメントJV																
2 管理運営方針 (公益性) ※SDGsを考慮した		<ul style="list-style-type: none"> 県立敷島公園は「敷島エリアグランドデザイン」、「湯けむり国スポ・全スポぐんま」の重要な2つの計画を実現していくため、その「真価」が問われる転換期にあると考えています。 当JVも、過去の経験や関係者との協働を「深化」させると共に世代交代による新たな価値を提供する「進化」を果たし、県民と共に持続可能な交流、体験、賑わいを創出する管理運営を推進していきます。 <div style="text-align: center;">  </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">3つのシンカ</th> <th style="width: 40%;">県立敷島公園として</th> <th style="width: 50%;">敷島パークマネジメントJVとして</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">進化</td> <td>新水泳場を核に「湯けむり国スポ・全スポぐんま」開催に向けた公園再整備</td> <td>体制の世代交代、新規人材の登用にて社会ニーズに対応した新たな価値を提供</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">深化</td> <td>「敷島エリアグランドデザイン」を通じ敷島エリアとしての一体感を醸成</td> <td>公園の歴史と文化を汲み取り、関係者との協働を深め既存価値や機能を最大化</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">真価</td> <td>「湯けむり国スポ・全スポぐんま」に向けて全国からの来県者を迎える準備</td> <td>全国規模の大会に相応しい施設の品質確保、関係者調整が可能な組織</td> </tr> </tbody> </table>					3つのシンカ	県立敷島公園として	敷島パークマネジメントJVとして	進化	新水泳場を核に「湯けむり国スポ・全スポぐんま」開催に向けた公園再整備	体制の世代交代、新規人材の登用にて社会ニーズに対応した新たな価値を提供	深化	「敷島エリアグランドデザイン」を通じ敷島エリアとしての一体感を醸成	公園の歴史と文化を汲み取り、関係者との協働を深め既存価値や機能を最大化	真価	「湯けむり国スポ・全スポぐんま」に向けて全国からの来県者を迎える準備	全国規模の大会に相応しい施設の品質確保、関係者調整が可能な組織
3つのシンカ	県立敷島公園として	敷島パークマネジメントJVとして																
進化	新水泳場を核に「湯けむり国スポ・全スポぐんま」開催に向けた公園再整備	体制の世代交代、新規人材の登用にて社会ニーズに対応した新たな価値を提供																
深化	「敷島エリアグランドデザイン」を通じ敷島エリアとしての一体感を醸成	公園の歴史と文化を汲み取り、関係者との協働を深め既存価値や機能を最大化																
真価	「湯けむり国スポ・全スポぐんま」に向けて全国からの来県者を迎える準備	全国規模の大会に相応しい施設の品質確保、関係者調整が可能な組織																
収支計画書	3 年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度												
	総収入	198,949千円	198,949千円	198,949千円	198,949千円	198,949千円												
	内訳	指定管理料	159,280千円	159,280千円	159,280千円	159,280千円	159,280千円											
		その他	39,669千円	39,669千円	39,669千円	39,669千円	39,669千円											
	総支出	198,870千円	198,870千円	198,870千円	198,870千円	198,870千円												
4 サービス等を向上させるための取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 新たな公園利用者を県立敷島公園全体へと誘引し、施設利用者及び園路利用者双方の増加を目指します。 「湯けむり国スポ・全スポぐんま」の開催機運醸成、「敷島エリアグランドデザイン」を踏まえながら、自主事業、公園の特徴を効果的に生かした取り組み、地域貢献の取り組みの推進により、体験と賑わいの創出、利用者の利便性向上を図ります。 また、多様な主体が公園を利活用し交流できる機会も創出することで地域の中から主体的に協働頂ける人材や事業者の発掘、公園運営参画のきっかけづくりを行っていきます。 																
5 広報広聴への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 急速に変化する県民ニーズを正確かつ丁寧に把握しながら、対象とする範囲の設定と媒体ごとの特性による使い分けにより県民全体に有益な情報が行き届く広報を行います。 																

6 県民との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつでも」「誰でも」「どのような内容でも」県立敷島公園の管理運営に参画できるように、積極的なコミュニケーションと情報発信を行うと共に、県民が持続性を持って活動継続できるよう支援します。 ・ボランティア活動を支援・調整するための専門窓口として、企画課従業員をボランティアコーディネーターとして配置し、活動希望者の受入れに一貫して対応を行います。
7 組織体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・当JVの代表団体を中心に各構成団体の専門性を活かした役割分担の下、各団体が役割の中において常に連携し合う体制をもって年間を通して安定した管理運営を行います。
8 維持管理の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツから日常的な利用、更に「湯けむり国スポ・全スポぐんま」の開催を見据え、快適かつ高品質な施設を提供する維持管理を推進します。 ・「敷島エリアランドデザイン」の生物多様性及び景観性の考え方より、植栽の中期的な保全や将来の更新も見据えた管理、四季の変化を踏まえた花壇による修景向上を推進します。
9 組織運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・「公の施設」の指定管理者として、利用者に対して公平公正に対応できる体制が必要であると同時に運動施設利用者と公園利用者に向けた「利用者ファースト」の視点が重要となります。 ・すべての利用者に対し、開かれた公平・公正な対応、心地よいサービスと個々の課題に寄り添った解決策を提供できる県立敷島公園に必要な要件を満たす人材配置と育成による運営体制を構築します。
10 人材育成について	<ul style="list-style-type: none"> ・最大の資産である従業員一人一人の資質と能力を高める、チャレンジ意識と自己研鑽の姿勢を備えた、県民に対して質の高いサービスを提供できる従業員を育成すると共に、既存従業員の更なるキャリアアップを推進していきます。
11 知識・経験について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着する代表団体オリエンタル群馬の責任の下、各構成団体が専門分野を活かし、各団体の全国的な業務展開に基づく知識、経験、実績を結集して県立敷島公園の管理運営を行ないます。
12 情報管理に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県及び県民の重要な情報を取り扱う行政代行者としての認識を持ち、入手した重要な情報や守秘義務に該当する情報を外部に流出させないためのソフト、ハード両面からの対策を行います。
13 安全管理への取り組み ・事故、災害等緊急時の連絡動員体制	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぐんま5つのゼロ宣言」より、自然災害による死者「ゼロ」を目指し、県立敷島公園の安全・安心を確保するための防災・減災対策の取組を行います。 ・当JVの安全管理への対応は基より、群馬県前橋土木事務所との役割分担、新水泳場建設運営事業者、公園内便益施設事業者との連携を図ります。 ・多様な地域関係者間の防災意識を醸成する合意形成を推進し、ゆるやかな連携を日常的に構築する地域防災を推進します。

<p>14環境管理に対する 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの理念・ぐんま5つのゼロ宣言と共に、当JVでは、「自らの努力による取り組み」と「対外的な協力連携による取り組み」の視点から当公園における環境管理を推進します。 ・4つのRに加えて5つ目のRであるリスペクト（物への敬意・大切に長く使う）の考えを管理事務所の従業員を始め、公園施設利用者に伝えながら、日々のエネルギー消費や廃棄物の発生を抑制するマネジメントを行います。
<p>15 プロスポーツの公 式戦や各種協会の 開催・大会運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツや全国規模のアマチュア大会において主催者の要求水準を満たす運営調整能力と高品質な施設維持管理の技術、大会開催までに必要な準備段取りの手順等のノウハウを有する群馬県唯一の指定管理者として、大会規模に応じた受入れの課題と対応策、関係者との合意形成を円滑化するツールと対応フローに基づいたきめ細かな調整を行います。 ・年間の利用調整では、大会開催における各競技団体の利用機会損失を最小限とし、満足度を向上させる支援を行います。
<p>16 県民との協働につ いて ・敷島エリアグラン ドデザインを踏ま え</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「敷島エリアランドデザイン」の第1歩となる対応を進めて行く上で、指定管理者の第三者評価委員会での報告とアドバイスを頂きながら、群馬県と協議を重ね段階的に推進します。 ・市管理区域、周辺施設管理者や地元関係者といった外部の意見を積極的に伺える場として、過年度まで開催していた運営協議会の実施内容を見直し、パークミーティングとしてリニューアルしました。 ・パークミーティングに参加頂く地域関係者を増や、自主事業への参画やボランティア活動を通じて、地域の中から主体的な役割を担って頂けるコーディネーターとなる人材や事業者の発掘を行っていきます。
<p>17 運動施設の維持管 理方法について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験と共に、常に競技者の要望を把握し、近年の夏期の猛暑が植生や土壌へ与える影響、猛暑に伴う利用傾向の変化も把握しながら、利用頻度及び維持管理コストと品質をバランスさせた天然芝の維持管理を実現していきます。 ・突発的な不具合発生を軽減するため、予防保全・改良保全の考えに基づいたきめ細かな対応を推進すると共に、公園施設長寿命化計画の内容を把握し、日常的な管理運営での活用を図っていきます。
<p>16 その他提案事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の立場から管理運営の工夫にて相乗効果を発揮していくと共に、県立敷島公園の更なる知名度向上も図りたいと考えています。利用者の自由な発想により、公園を楽しく使いこなす人々をさらに増やして行くことを目的とした「公園・夢プラン大賞」や「都市公園等コンクール」等のコンクール・コンテストへ応募していきます。

注 1 公表時は、申請者名欄は団体種別のみ表示します。

2 A4判3～4枚程度で事業計画書の該当項目を要約すること。

3 自主事業を行う場合は、収支計画書欄に自主事業を合算した数値を記載すること。